

平成30年度 入学式

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。

今日から皆さんは玉縄中学校の一年生です。これから、皆さんはこの玉縄中学校でいろいろなことを勉強していくことになります。中学校は小学校とは違うことがいくつかありますが、心配する必要はありません。先生や上級生がていねいに教えてくれます。

でも、私は、以前に小学校の校長を務めていたことがあるので、君たち新入生の力をよく知っています。少し前までは最上級生として学校を代表して、いろいろな場面で頑張ったり、下級生の面倒を見たりしていたことを知っています。

いつまでも先生や上級生に甘えているのではなく、中学校の生活に慣れたら、自分でやるべきことをしっかり考え、進んでやるようにしましょう。

保護者の皆様、本日はお子様のご入学、誠におめでとうございます。

中学校の3年間は、小学校の6年間に比べて本当にあつと言う間に過ぎてしまいます。

でも、この3年間は、お子様の人生において、心身ともにもっとも成長する時期となります。自分で考えながら、大人として自立していく大切な時期です。楽しみが多い半面、これまで以上に保護者として悩むことも多いかと存じます。大人にできることは、子どもを信じて見守りながら、子どもの抱えている問題を、子どもと一緒に考え、悩むことです。これは身近にいる者だからこそできることです。答えはでなくても、子どもの気持ちを真剣に受け止めることが大切だと思います。

さて、新入生の皆さん、なぜ学校があるのか考えたことがありますか。

少し難しい話になりますが、「教育基本法」という法律があり、その第5条に「義務教育の目的」が示されています。その目的は三つあります。わかりやすい言葉でいうと、

一つ目は、皆さん一人ひとりが持っている能力を伸ばす。

二つ目は、皆さんが社会において自立して生きていくために必要な力を身につけさせる。

三つ目は、社会に役立つために必要な基本的な能力を身につけさせる です。

この三つの目的を実現するために学校はあるのです。そして、皆さんは小学校でいろいろなことを学んできたのです。中学校ではさらにいろいろなことを学ぶのです。

でも、人には誰にでも得意・不得意があります。今まで学んできたことの中には、うまくできたこともあれば、なかなかできなかったこともあったでしょう。そして、これから学んでいくことの中にも、できることもあれば、うまくできないこともあると思います。

学校は、自分が苦手なことを少しでもできるようにする場所です。苦手なことでもあきらめず、粘り強く取り組んでください。

そして、学校は、自分が得意なことをさらに伸ばす場所でもあります。ときどき、「自分の得意なことがわからない。」とか、さらには、「自分には得意なものはない。」などという人がいます。

本当にそうでしょうか。「得意なものがない。」というようなことは決してありません。そう感じている人は、まだ「自分が得意なこと」を見つけられていないのです。自分が持っている能力に気づいていないのです。学校は、そのような人に「自分が得意なこと」を見つけてもらう場所です。自分が持っている能力に気づいてもらう場所です。

3年間の玉縄中学校での生活を通して、「自分が得意なこと」を目いっぱい伸ばしてください。

応援しています。

最後に 保護者の皆様に お願いがあります。

本校の教育目標は、「明朗 節度」です。

「明朗」の言葉には、①いつも希望をもって、夢や目標に向けて努力しチャレンジする生徒、②いつも前向きに、仲間と協力してよりよい生活や人間関係を築こうとする 思いやりと実践力のある生徒

「節度」の言葉には、①共に生きる社会の一員として お互いを認め合い、尊重しあえる生徒、②心身ともに健康で、学んだことを生かし、深く考え、責任をもって行動できる生徒

このような生徒になってほしいという思いが込められています。

玉縄中学校では、この目標の達成に向け、教職員が一つとなって様々な教育活動に取り組んでいます。

お子様はこれから3年間、この玉縄中学校で学んでいくわけですが、お子様の確かな成長のためには、学校と家庭が同じ方向を向いて力を合わせいく必要があります。そのためには学校と家庭の情報交換を密にしていくことが大切です。ご協力をお願いします。

3年後、成長した子どもたちが玉縄中学校を巣立っていくことを楽しみに、学校と家庭とが一体となって子どもたちを育てていきましょう。よろしくをお願いします。